

お申込方法

アートのホームページからお申し込みいただくが、件名を「スクール申込」とし、コースあるいはクーポン名、住所、氏名、年令、電話番号、希望する受講料のお支払い方法（銀行振込またはクレジットカード払い）をご記入の上、school@artto.jpまでメールをお送りください。受付後、受講料のお支払いと受講に関するご案内をメールでお知らせします。原則として、お申込完了後の変更、キャンセルおよび返金は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お申込開始と締切 開始：2026年3月26日（木）

締切	オールラウンダー、セミ・オールラウンダー	5月29日（金）
	基礎コースの「アートヒストリー(AH)」「アーティスト(AI)」「ライティング(WI)」「リーディングS(SI)」	5月29日（金）
	基礎コースの「リーディングAP(RAP)」「リーディングA(RA)」	9月8日（火）
	視点のプールのクーポン	11月27日（金）

※受講資格は特にありません。アートに関心があれば、どなたでも受講することができます。表示されている受講料は、消費税込みの金額です。掲載している情報は、2026年2月現在のものになります。レクチャーのテーマや内容、スケジュール、講師は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。アートスクール2026の視点のプール有効期限は、2026年12月末日になります。視点のプールのクーポンは、第三者へ譲渡して使用することはできません。

説明会とミニレクチャー

アート スクールやコース、レクチャーの概要や特徴について説明した後、小澤慶介によるミニレクチャーを行います。場所やレクチャーの雰囲気などについて知りたい方は、ぜひご参加ください。

6月開講の基礎コース

- 対面（すべて日曜日10:00 - 11:30）
4月12日/4月26日/5月17日/5月24日
- オンライン（すべて金曜日19:15 - 20:45）
4月17日/5月15日

9月開講の基礎コース

- 対面 8月21日（金）19:15 - 20:15

説明会へのお申込は、件名を「説明会」とし、ご希望の日時、住所、氏名、年令、電話番号をご記入の上、school@artto.jpまでメールをお送りください。

受講方法・受講料

- ① 基礎コース+視点のプール（各コース3パターンあります）
- ② 視点のプール
- ③ オール・ラウンダー（すべて受講可）/セミ・オールラウンダー（基礎コースのアーティストを除くすべて受講できます。）

※①は複数選択可能です。/基礎コースのみでの受講は、受け付けておりません。/①をお申込みの時点で、視点のプールを15あるいはすべて受講希望の方は、受講料について別途お問い合わせください。/②の視点のプールをすべて受講希望の方は、受講料について別途お問い合わせください。

	コース/クーポン名	レクチャー数	受講料	定員
① 基礎コース+視点のプール	アートヒストリー +2	19（コース17+視点2）	¥126,940	15名
	アートヒストリー +5	22（コース17+視点5）	¥143,440	
	アートヒストリー +10	27（コース17+視点10）	¥170,940	
② 視点のプール	アーティスト +2	16（コース14+視点2）	¥124,960	10名
	アーティスト +5	19（コース14+視点5）	¥141,460	
	アーティスト +10	24（コース14+視点10）	¥168,960	
③ セミ・オールラウンダー	ライティング +2	10（コース8+視点2）	¥65,560	10名
	ライティング +5	13（コース8+視点5）	¥82,060	
	ライティング +10	18（コース8+視点10）	¥109,560	
④ オールラウンダー	リーディングS/AP/A +2	8（コース6+視点2）	¥51,920	各10名
	リーディングS/AP/A +5	11（コース6+視点5）	¥68,420	
	リーディングS/AP/A +10	16（コース6+視点10）	¥95,920	
⑤ セミ・オールラウンダー	視点のプール クーポン3	3	¥19,800	-
	視点のプール クーポン5	5	¥33,000	
	視点のプール クーポン10	10	¥66,000	
	視点のプール クーポン15	15	¥99,000	
⑥ オールラウンダー	オールラウンダー	59	¥324,500	各3名
	オールラウンダー	73	¥385,440	



<https://artto.jp/>

各コース・レクチャーの詳細スケジュールは、アートのHPでご確認ください。



お問合せ・お申込先

一般社団法人アート
〒135-0005
東京都江東区高橋7-5 酒井ビル2F
Tel: 03-6659-5379
E-mail: school@artto.jp
URL: <https://artto.jp>

アート / artto

アートト 2026 School of Contemporary Art

兼松芽永

研究者 / 芸術の人類学

池田佳穂

インディペンデント・キュレーター

足立元

研究者 / 美術史・社会史

石川達紘

東京都現代美術館 学芸員

志賀理江子

写真家

沢山遼

美術批評家
武蔵野美術大学准教授

百瀬文

美術家

鈴木勝雄

東京国立近代美術館 企画課長

中尾拓哉

美術評論家 / 芸術学

藤井光

美術家

吉田山

インディペンデント・キュレーター
美術家

森田浩彰

美術家

森弘治

美術家

榎田倫広

東京国立近代美術館 主任研究員

清澄白河の
アートスクール

6月開講

アートスクール 2026

※レクチャーは、対面で行います。

プログラムが多様化する美術館、同時代の思潮を表す国際展、文化・福祉政策によるアートプロジェクト、作品が売り買いされるアートマーケットなどによって身近に感じられるようになってきた現代アート。そのなかでも、瑞々しい感性でこの時代や社会を照らし、わたしたちの知的好奇心を刺激する作品や展覧会、芸術運動、動向について、プロフェッショナルとともに考えを深めます。2026年度は、**6つの基礎コース**と選択制の**視点のプール16レクチャー**を開講。気候変動による異常気象や被災の知らせが後を絶たず、移民や難民が移動しつづけ、領土や資源をめぐる争いに終わりが見えず、経済活動がなによりも優先されるように見えるポストコロナの時代に、アートはどう関わりなかにを問うのでしょうか。



各コース・レクチャーの詳しいスケジュールは、アートのHPでご確認ください。
<https://artto.jp/>

基礎コース アートヒストリー (AH)

定員15名

3・4・5回目は 沢山遼
12・15回目は 樹田倫広 が担当します。

全16回

2026年6月～2027年1月 土曜日13:00～15:00 ※フォーラムは、16:00～18:00

私たちが「アート」と呼んでいるものは、実は18世紀ごろに到来した近代社会によってそのように認識され発展してきました。そのはじまりから2010年代までのアートの歩みを追いま。一見難しそうに見えるアートも、同時代の社会背景に照らし合わせてみると、なぜそれが評価され今に伝えられているのかがわかるようになります。現代アートに至る流れや現代アートに関する基礎的な考え方を知りたい方、また作品を作りつつもその裏付けとなる美術史の知識を得たい方は、ぜひご参加ください。

- 1 美術館のはじまり、芸術のはじまり
- 2 近代社会の到来と自律する芸術
- 3 芸術とリアリズム ロマン主義から抽象表現主義へ
- 4 理性の外へ ダダ、シュルレアリスムの芸術
- 5 古いヨーロッパから新しいアメリカへ移る前衛芸術
- 6 複製技術時代の到来と変容する芸術
- 7 20世紀の映像文化とスペクタクルの社会
- 8 フォーラム1
- 9 彫刻からインスタレーションへ
- 10 パフォーマンスがアートになるとき
- 11 表現の自由を追い求めて 戦後日本の前衛芸術
- 12 絵画の地殻変動 2000年代の「仮設的」絵画を起点に
- 13 1990年代のアート 西洋的なものへの疑いと関係性の美学
- 14 グローバリゼーションと多文化主義の時代
- 15 国境を越えるアーティストと絵画の現在地
- 16 新自由主義の波と二極化する2010年代のアート
- 17 フォーラム2

基礎コース リーディング

各定員10名

空間論と芸術実践 (RS)

2026年6月～8月 火曜日19:15～21:15 全6回

空間についての理論や学説を知り、そこから1990年代以降の芸術実践を読み解きます。「空間」という言葉はよく使われるものの、「空間とはなにか?」と問われると答えにながら、空間についての考えと社会空間における芸術実践について理解を深めます。アーティストをはじめアートの現場に関わっている方などにおすすめです。すべての回は小澤慶介が担当します。

芸術祭の読み解き方 アートプロジェクトの人類学 (RAP)

2026年9月～11月 火曜日19:15～21:15 全6回

芸術祭やアートプロジェクトを人類学の観点から読み解きます。芸術祭を、アーティストや地域創造の観点からではなく、具体的な過程で起こる人や生活文化の変化からとらえるとながら見えてくるでしょうか。社会における芸術のはたらきに焦点を据えるアルフレッド・ジェルの著作『アートとエージェンシー』を柱に、関連するテキストや参与観察の事例に触れながら、絶えず動き続けるアートプロジェクトについて考えを深めます。すべての回は 粟松芽永 が担当します。

感性とはなにか? (RA)

2026年9月～11月 日曜日14:00～16:00 全6回

感じとる力、感性とアートの関係について考えます。みずから感じているのか、それとも渦巻く情報やイメージに圧倒され感じさせられているのかわからなくなっているこの時代。感性によってこの世界をとらえるラディカルさについて考えます。星野太やジャック・ランシエールなどの感性論を紐解いたテキストや関連する芸術実践に触れ、感性とはなにかについて考えを深めます。すべての回は小澤慶介が担当します。

基礎コース ライティング

定員10名

全8回

2026年6月～9月 土曜日16:00～18:00

アートを見て考えたことを言葉にしてまとめる力、またふだん漠然と考えていることを他人と共有するために言語化する力を養います。情報やイメージが渦巻く文化的環境において作品や展覧会のレビューを書くポイントは、時間を十分にかけて見聞きし、言葉を紡いでゆくこと。AIやSNSに頼る前に、みずから力でアートを語る方法を身につけた方、また作品制作のステートメントなどを相手に伝えるように書きたいと考えるアーティストにおすすめです。すべての回は、小澤慶介が担当します。

- 1 レビューの書き方を知る
- 2 作品をよく見てレビュー書く
- 3 作品の成立背景を調べる
- 4 展覧会を見て得たことを書き出す
- 5 展覧会のタイトル、テーマ、作品の関係を読み解く
- 6 モヤモヤから企画を考える
- 7 企画案を文書にして伝える
- 8 発表とまとめ

オールラウンダー セミ・オールラウンダー

オールラウンダーはアートスクール2026の73レクチャーをすべて、セミ・オールラウンダーはアーティストを除く59レクチャーを受講することができます。国内外の美術系大学院への準備などで、アートの理論や歴史だけでなく、近年話題になっている展覧会や議論、現象、運動などについて短期間で体系的かつ網羅的に学びたい方におすすめです。

基礎コース アーティスト (Ar)

定員10名

全14回

2026年6月～2027年1月 日曜日10:00～12:30 ※プレゼンテーションの回は10:00～13:00

表現を作品にする力をディスカッションとプレゼンテーションをとおして養います。思いつきで表現するのではなく、なぜこの時代に表現をするのかという制作動機の確認からはじめましょう。そしてそれを表現に展開する方法や素材を見極め、試行と実験を重ね、思考と表現の強度を高めてゆきます。受講資格は特になく、作品を制作しつつアーティストとして自立した活動を目指す方であればどなたでも受講することができます。すべての回は、美術家の森弘治と小澤慶介によって行われます。一部で美術家の森田浩彰をゲストに迎えます。

同時代とリアリティ

- 1 作品のプレゼンテーション
- 2 制作動機と表現についての自己分析
- 3 同時代のリアリティをさぐる WS
- 4 同時代のリアリティから表現を考える
- 5 表現から作品を考える
- 6 作品のポディーを構成する要素を考える
- 7 新作のプレゼンテーション

「空間」への展開へ

- 8 「空間」から作品を考える
- 9 空間を読み解く力をつける WS
- 10 空間を成立させている要素から作品を検討する
- 11 作品から展示空間へ
- 12 展示空間と作品の質を高めるために
- 13 新作のプレゼンテーション
- 14 自立したアーティストになるために WS ワークショップ

選択制レクチャー 視点のプール

全16回

土曜日開講 16:00～18:00 (一部例外あり) 日曜日開講 14:00～16:00 (一部例外あり)

視点のプールは、現代アートと同時代の関係について、一歩踏み込んで考えるための選択制レクチャーです。現代アートの現場に携わるプロフェッショナルによる、4つの視点16レクチャーを開講します。※視点のプールのみの受講もできます。

【芸術の実践】

コレクションから考える美術館の課題、アートの課題
石川達純

旅をしながら世界と出会い直すキュレーション
吉田山

美術館へ行こう
小澤慶介

アーティスト・イン・レジデンスの未来
小澤慶介

【リサーチと芸術実践】

オルタナティブをゆく東南アジアの芸術実践と場づくり
池田佳穂

資料を集め思考し作品化すること
藤井光

他者とともにいることで姿を見せはじめる世界
百瀬文

生きられた経験が作品になるまで
志賀理江子

【激動の時代と芸術】

第一次世界大戦が変えた人間と芸術
小澤慶介

81年目の夏に考える日中戦争、太平洋戦争の記憶と芸術
鈴木勝雄

ポストコロナの時代とアートの変容
小澤慶介

芸術を市民の手に大正期の芸術運動が今に伝えること
足立元

【感性と芸術実践】

エコロジーとアートの実践
小澤慶介

ボール・セザンヌ遊びが絵画に結ばれるとき
中尾拓哉

ジョルジュ・ブラックゲームと絵画の相関関係
中尾拓哉

前衛としてのアイコン
沢山遼

アート/arttoとは?

2016年6月に清澄白河にて開校した現代アートのスクールです。同時代に近い未来を表すといわれている現代アートには、この変わりゆく世界を読み解くヒントがたくさんあります。アートの現場に行き、見て、語り合い、アートとこの世界の結び目をさまざまな角度から考えます。現代アートのスクールのほかヨガクラスを開いています。

ディレクター

小澤慶介

(一般社団法人アート代表理事、インディペンデント・キュレーター)

ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ美術史修士課程修了。2017年に一般社団法人アートを設立。これまでに「十和田奥入瀬芸術祭 SURVIVE この惑星の時間旅行へ」や「六本木クッキング2016展 僕の身体、あなたの声」(森美術館)など数々の展覧会や芸術祭にてキュレーターを務めた。現在、アーティスト・イン・レジデンス事業アークス・プロジェクトのエグゼクティブ・ディレクター、法政大学兼任講師を兼務している。